

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 機械受注統計調査(2012年2月)

発表日 2012年4月11日(水)

～事前予想を大幅に上回る。1-3月期の内閣府見通しは達成の可能性大～

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL: 03-5221-4528

(単位: %)

		民需			代理店	官公需	外需
		船舶・電力除く 前期比	製造業	非製造業			
			前期比	船舶・電力除く 前期比			
11	1-3月	5.6	5.3	1.4	7.9	▲ 6.0	13.3
	4-6月	2.5	▲ 0.2	5.0	3.0	0.9	▲ 13.1
	7-9月	1.5	2.5	5.0	▲ 9.9	▲ 4.5	▲ 5.3
	10-12月	▲ 2.6	▲ 2.8	▲ 2.3	16.1	11.7	8.8
12	1-3月(見)	(2.3)	(2.7)	(0.8)	(15.3)	(16.2)	(23.8)
11	1月	4.0	3.8	4.8	8.0	▲ 4.2	14.1
	2月	1.7	3.1	1.6	▲ 1.6	9.2	6.7
	3月	1.0	▲ 0.8	0.1	1.2	▲ 9.4	▲ 10.8
	4月	▲ 3.3	▲ 2.7	2.9	23.3	▲ 1.2	▲ 2.1
	5月	3.0	▲ 1.4	▲ 5.4	▲ 22.4	10.7	▲ 6.6
	6月	7.7	9.3	15.7	▲ 6.6	▲ 3.2	▲ 5.9
	7月	▲ 8.2	▲ 5.2	▲ 1.4	▲ 1.5	▲ 1.7	▲ 9.8
	8月	11.0	13.7	▲ 6.1	▲ 0.2	▲ 5.5	32.3
	9月	▲ 8.2	▲ 17.5	8.5	15.9	▲ 1.0	▲ 21.7
	10月	▲ 6.9	5.5	▲ 7.3	4.0	1.9	1.6
	11月	14.8	4.7	6.2	0.6	▲ 5.3	20.3
	12月	▲ 7.1	▲ 7.1	▲ 6.0	3.0	50.7	5.6
12	1月	3.4	▲ 1.8	2.3	▲ 2.5	▲ 17.7	20.1
	2月	4.8	16.0	2.3	5.7	▲ 7.3	▲ 18.3

(出所) 内閣府「機械受注統計」

○ 事前予想を大幅に上回る

内閣府から発表された2012年2月の機械受注（船舶電力除く民需）は前月比+4.8%と2ヶ月連続で増加し、小幅減を見込んでいた事前の市場予想（前月比▲0.5%、レンジ：▲4.0%～+3.8%、筆者予想：▲1.0%）を大幅に上回った。

1、2月とも強い結果となったことで、1-2月平均の水準は10-12月期を5.4%上回っている。3月に前月比▲10.9%以上であれば、1-3月期の内閣府見通しである前期比+2.3%を達成可能だ。3月に反動減を見込んだとしても、見通し達成の可能性は高いだろう。機械受注は10-12月期に、景気の先行き不透明感の強まり等から前期比▲2.6%と減少していたが、1-3月期はその落ち込み分を取り戻す形で増加することになる。欧州債務問題への懸念が若干和らいだことや円高の一服などを受けて企業マインドが落ち着いてきたことや、復興関連投資が増加していることがプラスに効いたとみられる。

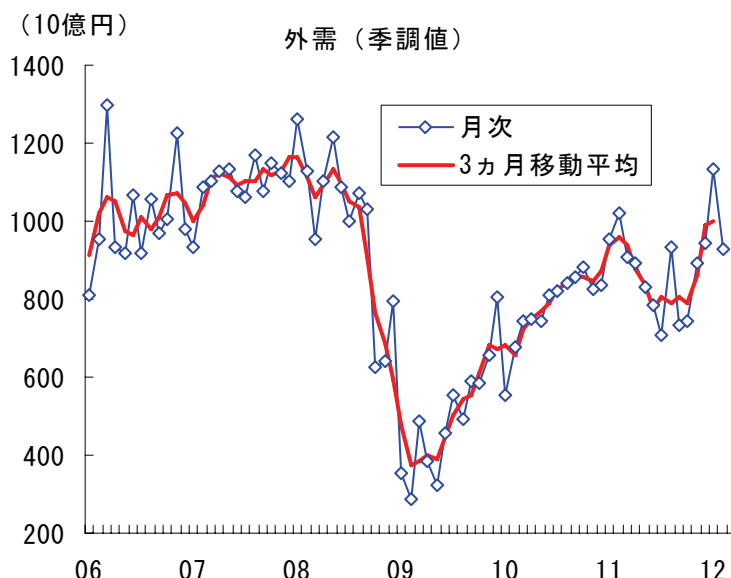
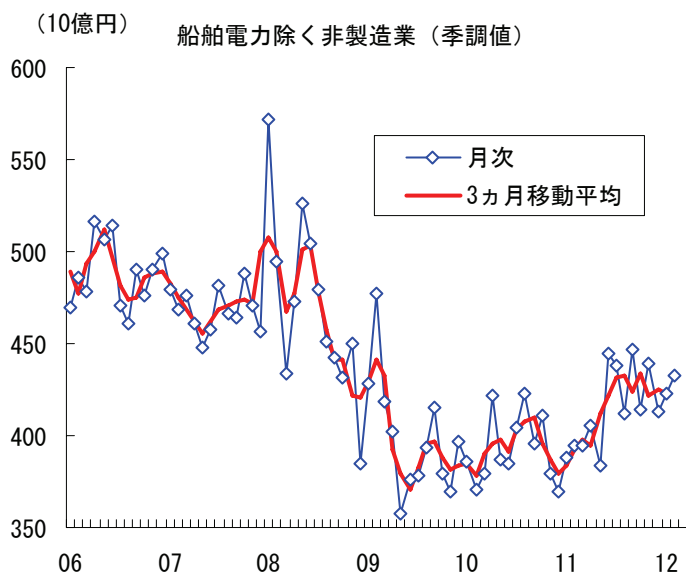
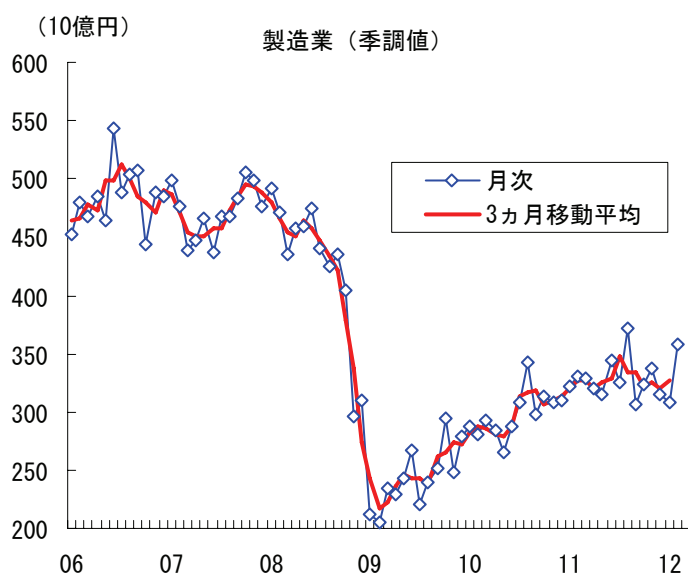
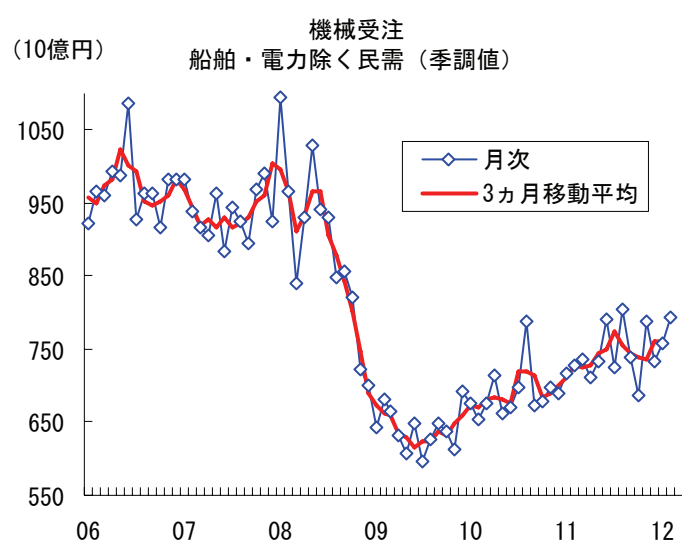
先行きについても、復興関連投資による押し上げに支えられ、設備投資は緩やかな増加基調で推移すると思われる。ただし、輸出が依然明確な持ち直しに至っていないことや、原油価格上昇により収益圧迫が懸念されていることなどを踏まえると、設備投資の伸びは緩やかなものにとどまる可能性が高いことには注意する必要がある。

○ 業種別の動向

2月の民需（船舶・電力除く）の内訳では、製造業が前月比+16.0%（1月：同▲1.8%）、非製造業（除船・電）が同+2.3%（1月：同+2.3%）となっている。

製造業の伸びが非常に高いが、これは化学工業（前月比+52.8%）や造船業（前月比+263.5%）が受注集中で急増したことによるものであり、この2業種だけで製造業は+13%ポイントも押し上げられている。3月には反動減は避けられないと思われ、2月の増加については割り引いて見る必要がある。製造業からの受注が明確に上向いているとは言えないだろう。なお、製造業の1-3月期の内閣府見通しである前期比+2.7%を達成するためには3月に前月比▲6.3%を上回る必要があるが、2月の反動減が出るのが必至であることを考えると、達成は微妙な状況だ。

非製造業は前月比+2.3%（2月：同+2.3%）と2ヶ月連続の増加だった。通信業が2ヶ月連続で高い伸びになったことが押し上げ要因になった。スマートフォン関連の基地局増設の動きが出ているものと思われる。非製造業については、1-3月期の内閣府見通し（前期比+0.8%）達成のためには3月が前月比▲2.4%以上である必要があるが、これは十分クリア可能なレベルだろう。



（出所）内閣府「機械受注統計」